

親身になって相談に乗ってくれる先生がたくさんいらっしゃる茨高に感謝

A・K

新潟大学 工学部 工学科 建築学プログラム専攻 進学
水戸市立 第五中学校 卒業

授業では予習が必要な教科があり、また授業のスピードが一貫生と比べて早いので、特に数学と理科は授業の前に教科書に目を通すだけでも授業中の関心意欲や授業後の理解度がかなり変わって来ると思います。課外は1年の頃から比較的充実していて、模試の過去問や大学入試の良問に早くから触れることができるので、できる限り積極的に取ったほうが良いと思います。また茨城高校には中学も含めてたくさんの先生がいらっしゃいます。進路で迷っていた時ある先生の「その大学にしかない特色は何なのか、それは自分がやりたい事と一致しているのか？」と聞かれたときハッとしました。自分が本当に学びたいことを学べる大学を選ぶことで充実した4年間になると思います。このように会話の中で自分の考えや進路先が固まってくることもあるので、親身になって相談に乗ってくれる先生がたくさんいらっしゃる茨高に感謝しています。

部活動では部員が30名以上いるなかで、高入生が5、6名と入部当初は不安でいっぱいでした。しかし先輩も同級生もとても温かく迎え入れてくれて、合宿等の機会を通して仲を深められました。部活動を通して一貫生とも友達になれたので、初心者でも興味のある活動に参加することをおすすめします。研修旅行では当時はシンガポール、カナダ、沖縄と選択肢が3つあり、これは他の高校にはない魅力だと思います。私はシンガポールを選びました。初めての海外渡航で自分の英語は通じるのか、現地の人々の英語を聞き取れるのか心配でした。しかしホームステイ先の家族は拙い英語でも真剣に聞いてくれて、言いたいことが上手く表せない時は単語をつなげたり、伝えたい気持ちを出すだけでも十分に理解してくれました。研修旅行を通して、失敗を恐れずにチャレンジする事、またもっと英語力を身に付けて多くの国の文化や人々の理解を深めたいと強く感じるきっかけになりました。

茨高の良いところは、先生がたくさんいらっしゃるいつでも質問にいけるところだと思います。そしてどんなに忙しくても丁寧に質問に答えて下さり面倒見がとても良いところが他の学校にはないと思います。また入学当初は一貫生は頭がよくて怖いイメージがありましたが、文化祭やクラスマッチがコロナの影響でなくなった3年時でも、体育の授業や休み時間に仲良くなれました。受験期には一貫生から受ける影響力は計り知れず、とても良い刺激になります。

大学入学後は、大学がゴールだとは思わず高校で学んだことを糧に自分の夢に向かって必要なスキルを身につけ、社会に貢献できるように頑張ります。また建学の精神である、「報恩感謝」という言葉を胸にこれまで支えて下さったたくさんの方々の恩に報いる生き方をしたいと思います。